

2022年
4月1日

武蔵野文化事業団と武蔵野生涯学習振興事業団は合併し、新事業団としてスタートします！

合併後の新名称：**公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団**

〈詳細は18ページ「TOPICS 2」→〉



出演：石丸由佳（オルガン）

昼下がりのコンサート

風琴サロン

第11回「オルガン・サスペンス劇場」

2022年5月2日（月）午後2時開演

武蔵野市民文化会館 小ホール（中町3-9-11）

全席指定 一般 2000円 小学生以下 500円

ゴールデンウィークは、“楽器の王様”パイプオルガンに親しもう！トークを交えたサロンコンサートシリーズ「風琴サロン」。映画音楽などの懐かしいメロディーとともに、不思議な楽器パイプオルガンのドキドキ「サスペンス劇場」をお届けします。（4歳以上入場可）



クラシック音楽謎解きミステリー

音楽探偵バッハの事件録 ～怪盗モーツァルトのたくらみ～

2022年6月11日（土）武蔵野市民文化会館 大ホール（中町3-9-11）

*開演時間、チケット料金は後日ホームページなどで発表します。

観客の皆さんが参加して謎を解き明かす“謎解き”“演劇”“クラシック音楽”の魅力が詰まった新感覚のイベントです。名曲の数々が散りばめられたストーリーが進むにつれ、浮かび上がる謎。皆さんには、ヒントを手掛かりに謎解きに挑戦していただきます。クラシック音楽は敷居が高くて…と思っているあなたにこそオススメです。

出演：平林之英（音楽探偵バッハ）

城村奈都子（助手セバスチャン／ピアノ）



※公演は新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催します。
※出演者・内容はやむを得ず変更となることがあります。
※最新の公演情報については事業団ホームページをご覧ください。

公益財団法人 武蔵野文化事業団

twitter https://twitter.com/musashino_bunka
facebook <https://www.facebook.com/MusashinoCulture>

■チケットのお申し込み

0422-54-2011

インターネットからもお申し込みできます

■チケット取り扱い窓口

武蔵野市民文化会館／武蔵野芸能劇場／武蔵野公会堂／武蔵野スイングホール／吉祥寺シアター／吉祥寺市政センター*／武蔵境市政センター*／中央市政センター*
（*の施設での取り扱いは3月29日まで）

※電話・窓口予約の場合、アルテ友の会に同時入会可能です（年会費1000円）。インターネット予約では同時入会できません。

※4月1日以降もチケット申し込みの電話番号に変更はありません。なお、システム更新のため、3月30日～4月1日まで一時的にシステムを停止しますのでご了承ください。

野田九浦 —〈自然〉なること—

2022年4月16日(土)～6月5日(日)

休館日：4月27日(水)、5月25日(水)

主催：武蔵野市立吉祥寺美術館

《杏実を摘む》1920年代頃
絹本着色(武蔵野市蔵)《夏の川》1950年代頃
絹本着色(武蔵野市蔵)《懶祭書屋》1951年
絹本着色(武蔵野市蔵)

野田九浦(1879～1971)は武蔵野市ゆかりの日本画家です。幼少期から絵画に秀でた九浦は、10代半ばで日本画家の寺崎廣業に入門、その後東京美術学校に進学。同校中退後は日本美術院で研さんを積む傍ら、正岡子規に俳句を学び、白馬会洋画研究所に通ってデッサンの指導を受けたほか、英語やフランス語の習得にも励みました。

野田九浦肖像
撮影：1950年代

九浦の中心的主題は最初期から一貫して歴史人物ですが、彼が、子規の自然主義芸術論に触れたことが画業の転機になったと語っているのは注目に値します。当時の新たな日本画の画風には〈朦朧体〉がありましたが、九浦は伝統的な描法を守り、線を埋没させることはしませんでした。そうした彼の描写は一見古風で、強烈な個の表出はみえません。しかし、その清明な画面と向き合えば、個という狭小な境域を超えた自然、あるいは宇宙の広がりを実感できます。九浦が大切に描いた線には、彼が子規から体得し、自らのうちに昇華させた自然主義が集約しているのではないのでしょうか。

博識で知られた九浦は評論や随筆も数多く残し、古画や歴史に学ぶのみならず、日本画の将来にも常に意識を向けていました。彼の画塾は独色ある作家を多く輩出しましたが、そこには九浦の先見性と懐の深さがあったのです。

武蔵野市には古くから多くの文化人が集い、多様な個が大らかに受容されてきました。50年近くを吉祥寺で過ごした野田九浦は、こうした地域性を、まさに自ずから然るべく体験していたともいえるでしょう。

野田九浦没後50年、そして吉祥寺美術館開館20年の節目となる今回、武蔵野市が所蔵する作品より約20点を関連資料とあわせて展観、「歴史人物画の名手」という側面にとどまらない九浦の魅力をご紹介します。



武蔵野市立吉祥寺美術館

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-8-16 コピス吉祥寺 A館7階
Tel. 0422-22-0385

開館時間 午前10時～午後7時30分

休館日 毎月最終水曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始、展示替えおよび特別整理期間入館料 一般300円/中高生100円
(小学生以下・65歳以上・障害者の方は無料)

交通案内 JR・京王井の頭線「吉祥寺駅」下車 北口より徒歩3分

twitter https://twitter.com/kichi_museum
facebook <https://www.facebook.com/KichijojiMuseum>

【新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください】

マスクの着用、入館時の検温および調査票の記入、対人距離の確保などにご協力をお願いします。混雑時には入場制限を行う場合があります。